

# YA コンサート「音楽が彩る本の世界」開催レポート

10月27日（日）に中央図書館で、YA コンサート「音楽が彩る本の世界」が開催されました。YA コンサートとは、YA 世代の皆さんがおすすめの本を紹介し、その本に関連した音楽を演奏するというものです。

毎年大好評のこのコンサート、今年はどんな本と音楽の出会いがあるのでしょうか。第3回目となる今回は、静岡県立駿河総合高等学校吹奏楽部の皆さんと、静岡県立静岡北特別支援学校南の丘分校の皆さんに出演していただきました。YA 世代ど真ん中のフレッシュな生徒さんたちによるコンサート。文化祭や定期演奏会でもコラボレーションしているという二校は、どんなハーモニーを奏でてくれるのでしょうか。

さて、YA コンサートの開演は午後1時30分からでしたが、出演者の朝は早いのです。午前9時30分、「おはようございます！」と元気な挨拶と共に、部員の皆さんが中央図書館にやってきました。重い楽器もなんのその、会場である二階の視聴覚ホールまで、力を合わせどんどん運んでいきます。普段楽器を近くで見ることがないので知らなかったのですが、ものによっては毛布にくるまれていたり、頑丈そうなケースに入っているんですね。譜面台が折りたためることも、恥ずかしながら初めて知りました。

舞台上の椅子の位置などを確認し、各々の楽器を設置したら、午前9時50分、リハーサルが始まりました。一時間ほどは入念に音出しをし、楽器の音色をたしかめているようでした。

午前10時50分頃から、司会の生徒さんのナレーションを入れての通し練習が始まりました。先生の鋭い指導に、生徒さんたちの表情も真剣です。本番さながらの迫力ある演奏に、見学していた図書館スタッフたちも聞き入ってしまいました。通しのリハーサルが終わった後は、各自先生から指摘を受けたところを見直すべく、個人練習に入りました。視聴覚ホールを出て城北公園で練習している生徒さんもいたらしく、木々のざわめきと共に、楽器の音が風に乗って流れてきて、なんとも素敵な音楽を奏でていました。



（リハーサルの様子です。）

午後1時頃から、会場の外には開演を待つ方たちが行列を作っていました。午後1時15分の会場と共に、視聴覚ホールの椅子は次々と埋まっていき、開演時間午後1時30分には、ほぼ満席となりました。小さな子どもからお年寄りまで、本当に様々な年代の方が来場してくれました。今年はどんな本が紹介されるのかな、どんな演奏が聴けるのかな、そんな期待を含んだ空気が会場を満たしていきます。

午後1時30分、YAコンサート、開演です！1曲目は、NHK合唱コンクールの課題曲「ふるさと」です。紹介された本は本多有明さんの『歌え！多摩川高校合唱部』。実在する高校で起こった実話を元にした物語です。顧問の先生の異動、三年生の引退、新しい顧問の先生、新入部員、合唱部を取り巻く環境は変化の連続で、新しい先生との間にも気持ちのズレが出てきてしまいました。しかし、NHK学校音楽コンクールに向け練習していくうちに、少しずつ理解を深めていきます。優しく穏やかな、伸びのあるメロディーが、ゆっくりと客席を満たしていき、緩やかに、本と音楽の世界へと導かれるようでした。

写真絵本『すごいね！みんなの通学路』と併せて演奏された曲は、「風になりたい」です。この絵本には、世界各国の道なき道を、船をこいだり山を越えたり、崖を上り下りしたりと様々な方法で学校へ向かう子どもたちの姿が収められています。ゆったりとした優しい曲と思わせてからの、軽快ではじけるようなメロディー。皆が楽しくなるようなリズムは、通学路を吹く一陣の風のように、会場中を駆け巡りました。

コンサート前半の最後を締めくくったのは、今井耕介さんの『帰ってきた「はやぶさ」小惑星探査機7年60億キロの旅』です。惑星イトカワから、チリや砂の粒を持ち帰る大切な任務を遂行するため、はやぶさは暗く冷たい宇宙空間をたった一人で進んでいきます。演奏された曲は、美少女戦士セーラームーンの主題歌として知られている「ムーンライト伝説」。ドラマティックなメロディーが、広大な宇宙空間を進むはやぶさの雄姿を思い起こさせました。



(来場者の皆さんも、迫力ある生の演奏に聴き入っています。)

当日は、会場後方に、紹介された本や演奏された楽曲が収録されているCDと併せて、駿河総合高校の図書委員さんが選んだ、生徒さんおすすめの本のポップと、そこで紹介された本も展示されました。また、南ヶ丘分校の学校紹介も掲示され、休憩時間は、掲示物を見たり本やCDを手にとる方にぎわいました。聴いたばかりの演奏を思い出しながら紹介された本を手にとったり、丁寧に書かれたポップから気になる本を探したりするのは、コンサートの合間の楽しいひと時だったんじゃないかなと思います。



(当日紹介された本の紹介コーナー)



(駿河総合高校の生徒さんおすすめ本コーナー)



(南ヶ丘分校の学校紹介のコーナー)

10分間の休憩を挟み、後半が始まったのは午後2時10分。後半1冊目には『甲子園だけが高校野球ではない』という本が紹介されました。前田敦子さん主演『もし高校野球の女子マネージャーがドラッグのマネジメントを読んだら』の原作者、岩崎夏海さんが監修した本です。高校野球＝甲子園というイメージが強いですが、その夢の舞台に立てるのはほんの一握りであり、その裏にはさまざまなドラマがあります。本の中では、それぞれの事情を抱えながら、家族や仲間を支えられ、夢に向かって進む球児たちの姿が描かれています。この本は来場者アンケートで、最も印象に残った本に選ばれていました。演奏されたのは、関ジャニ∞の「オモイダマ」。2017年の全国夏の高校野球の応援ソングというだけあって、そのメロディーは高校球児たちの汗と涙を包み込んでくれるような優しさにあふれていました。

紹介された本の中には、今年5月に亡くなられたさくらももこさんの「もものかんずめ」もありました。国民的アニメ「ちびまる子ちゃん」の作者として知られているさくらももこさんの初のエッセイ本で、マンガのイメージそのままの愉快的話が収録されています。演奏された曲はもちろん「おどるポンポコリン」！コミカルな音とリズムに合わせて、会場からは手拍子が起こりました。

最後に演奏された本は、額賀滯さんの『さよならクリームソーダ』という本です。美大に進学した主人公は、思うようにいかない学生生活に苦戦します。そんな彼が、アパートの隣人に助けをもらいながら、自分自身が抱える生きづらさの息苦しさの正体に気が付いていくという、クリームソーダという可愛らしいタイトルとは反対の、少し切ない物語です。演奏された、いきものがかりの「ブルーバード」の、胸が締め付けられるようなメロディーが、作品の雰囲気とよく合っていました。力強い演奏は会場に爽やかな余韻を残し、ビシッとラストを締めくくりました。



(無事コンサートを終えられた両校の皆さんに、大きな拍手が送られました)

14時30分、YAコンサートは無事終演を迎えました。本の魅力を分かりやすく伝え、息の合った演奏で会場を盛り上げてくれた生徒さんたちに、最後に会場から大きな拍手が送られました。来場者を見送った後、生徒さんたちは速やかに撤収作業に入りました。演奏を終えてホッとしたのか、笑顔で会話をしながら、手際よく楽器を運び出していきます。会場の片づけも率先して手伝ってくれ、スタッフも大いに助けられました。

場が落ち着いたところで、南ヶ丘分校と駿河総合高校の生徒さん、それぞれにお話を伺いました。南ヶ丘分校の生徒さんは、本の紹介をしてくれたのですが、まずは無事終わってほっとしたそうです。大勢の人の前で発表するのは緊張しましたか？とお聞きしたところ、緊張しなかったという人が一人！発表するときは姿勢よく、ゆっくり話すように心掛けたそうです。たくさん練習したというだけあって、聞き取りやすい声、分かりやすい本の紹介に、来場者も熱心に耳を傾けていました。きっと、この本読んでみよ！と思った人がいるはず。

駿河総合の生徒さんに今回大変だったことをお聞きしたら、外部（図書館）とのやりとり（電話対応や話の進め方など）が一番に挙げられました。知らない大人とやりとりすることは、大人が想像する以上に気を遣ったことなのでしょう。その他にも、紹介文の訂正や、伝達が上手くいかなかったことなど、大変なことがたくさんあったとのこと。しかもです。本番までの日数が短いのに、テスト期間とかぶっていたそうなんです。テスト勉強と並行しての、打ち合わせやら選曲やら選書やら・・・・・・・・。想像しただけで、目の回るような忙しい日々だったかがわかりますね。今回、先に紹介したい本を決め、後から曲を決めたそうなのですが、自分たちの演奏できる曲の中から本のイメージに合う曲を選ぶのが大変だったようです。本と音楽のコラボレーションは初めてのことで、不安もあったそうですが、本の情景が浮かぶような、メリハリのあるプログラムになるよう心掛けたということです。

どちらの学校の生徒さんも「またYAコンサートをやってみたい！」と言ってくださり、とても嬉しかったです。

インタビューを通して、華やかな本番のステージの裏には、たくさんの努力があったんだなと実感しました。

出演して下さった静岡県立駿河総合高等学校の皆さん、静岡県立静岡北特別支援学校南の丘分校の皆さん、来場者の皆様、ありがとうございました！！

（紹介した本と演奏した楽曲の一覧は、末尾の「当日のプログラム」）をご覧ください☆）

## ★静岡県立駿河総合高等学校吹奏楽部の紹介★

静岡県立駿河総合高等学校吹奏楽部は、1年14人、2年6人の計20人で活動しています。現在は新体制となり、来年のコンクールに向けて頑張っています。月に一度、新東名高速道路サービスエリア“ネオパーサ静岡”、東名高速道路サービスエリア“エクスパーサ富士川”で演奏を行っており、ポップス以外にも、バッハ作曲「G線上のアリア」などのクラシック曲も演奏しています。音色を綺麗に、音の出だしを合わせるなどの基本的な事から、音楽的な表現をつけて演奏することを心掛けて練習をしています。

## ★静岡県立静岡北特別支援学校南が丘分校の紹介★

南が丘分校は、静岡県立静岡北特別支援学校の分校（高等部単独校）として、平成16年に静岡県立静岡南高等学校内に設置され、平成25年に静岡県立駿河総合高等学校内に移転しました。今年度は1年18人、2年18人、3年17人の計53人が在籍しています。「働くことを厭わないひと」をめざし、職業教育と共生・共育を柱に掲げ、学校生活を充実させ、卒業後には、家庭・地域・職場で自立し、心豊かに生活することをめざして取り組んでいます。また、校内に留まらず、地域に貢献する活動を通して、一人一人がやりがいを感じ、様々な世代とより良い関係を築けるようになることも大切にしています。

## ★当日のプログラム★

（紹介された本や演奏された楽曲の原曲が入ったCDは図書館に所蔵があります。詳しくは図書館職員までお尋ねください。）

### 1. ふるさと （youth casa/作曲、郷間幹男/編曲）

紹介された本：『歌え！多摩川高校合唱部』 本田有明/著、河出書房新書

### 2. 君に届け （阪井一生/作曲、本澤なおゆき/編曲）

紹介された本：『5分後に恋するラスト』 エブリスタ/編、河出書房新社

### 3. 風になりたい （宮沢和史/作曲、小島里美/編曲）

紹介された本：『すごいね！みんなの通学路』

ローズマリー・マカーニー/文、西村書店

### 4. 負けないで （織田哲郎/作曲、小島里美/編曲）

紹介された本：『君たちはどう働くか』 今野晴貴/著、皓星社

5. ムーンライト伝説 (小諸鉄矢/作曲、小島里美/編曲)

紹介された本：『帰ってきた「はやぶさ」 小惑星探査機7年60億キロの旅』 今泉耕介/作、ハート出版

6. オモイダマ (南田健吾/作曲、山下国俊/編曲)

紹介された本：『甲子園だけが高校野球ではない』 岩崎夏海/監修、廣済堂あかつき他

7. 前前前世 (野田洋一郎/作曲、佐藤丈治/編曲)

紹介された本：『帰宅部ボーイズ』 はらだみずき/著、幻冬舎

8. おどるポンポコリン (織田哲郎/作曲、本澤なおゆき/編曲)

紹介された本：『もものかんづめ』 さくらももこ/著、集英社

9. ブルーバード (水野良樹/作曲、本澤なおゆき/編曲)

紹介された本：『さよならクリームソーダ』 額賀濤/著、文藝春秋